

(特非)福島県防災士会 会報

特定非営利活動法人 福島県防災士会 事務局発行 2024.04.01 №023

令和5(2023)年度 第3回理事会開催報告



開会の挨拶をする滝田理事長

3月16日(土)二本松市にある男女共生センター3階特別会議室において、令和5年度第3回理事会が開催されました。滝田理事長から「昨年9月に大雨で事務局が被災し、久しぶりの開催であること。また、1月1日には、『令和6年能登半島地震』が発生し、被災された方々にお見舞い申し上げます。」と挨拶されました。

議事においては、これまでの半年間の活動報告がされました。9月8日の台風第13号の大雨(線状降水帯)と洪水により、事務局が被災してしまい十分な活動が出来なかったことの反省。そのような中でも会津若松市の

『地域防災リーダー研修』と福島県『介護施設防災リーダー養成等支援事業』への対応。学校法人昌平豊の防災士養成事業協力。そして地区防災計画や被災地支援などの昨年の活動は状況が報告されました。また、今年に入ってから、『令和6年能登半島地震』では、石川県防災士会(日本防災士会石川県支部)への支援金の募金活動を行い福島県防災士会より50,000円と、有志の皆様から119,000円の募金を行いました。今後についても、支援金募金を継続して行くことを確認しました。

また、日本防災士会本部や東北支部連絡協議会の状況についても報告をいただきました。

今後の活動については、総会へ向けてのスケジュールや福島県内で大規模災害で被災したときの受援体制や近隣自治体等で大規模災害が発生した際の支援の在り方について、話し合いやルールの作成について検討して行くこととしました。更に、中学生、高校生、大学生などの防災士資格者の入会希望についての意見交換もされ、日本防災士会本部や東北支部連絡協議会の状況(会費、保険、保護者の承諾など)を確認し、慎重に検討を進めてまいります。

今後も、会員の皆様からのご意見等を反映して会の運営を行えるよう努めて参ります。宜しくお願い申し上げます。



第3回役員会の様子

事務局改装による使用延期のお詫び

昨年9月8日の台風第13号の大雨・洪水の被害により、事務局(事務所)が被災しました。その際に多くの方から、お見舞いやご支援いただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。現在、事務所改装中で一部が使用出来ない状況で、ご迷惑をお掛けしております。今後ご支援よろしくようお願い申し上げます。

日本防災士会会員の活動理念

- 第1. 日本防災士会会員(以下「会員」という)は、地区防災力の向上に努め、防災協働社会の実現に寄与することを活動の基本理念とする。
- 第2. 会員は、地区の防災活動に参画し、災害の事前対策、応急対策等、地区防災活動計画の策定・実施に関し、指導的役割を果たすものとする。
そのために、次の事項に積極的に取り組むものとする。
 - 1 会員相互のネットワークを構築し、協力関係を確立する。
 - 2 地区防災活動のリーダーにふさわしい防災知識・技能の研さんに努めること。
 - 3 自治体と緊密な連携を図ること。

11月18日相馬市ジュニア防災マスター



ペットボトルランタン作成の様子

11月18日に相馬市の『はまなす館』において、「第4回そうまジュニア防災マスター」が開催されました。

当日は、小学生26名と11名の保護者の方が集まりました。当会からは高橋誠副方部長、高橋智宏会員、澁谷紀子会員の3名が参加されました。主催は、相馬市教育委員会、相馬消防署で消火器の取扱い訓練、応急担架訓練、煙体験、AED取扱い訓練、非常食体験、地震体験を行い、防災士会は防災グッズ作成担任いたしました。

防災グッズ作成では、ビニール袋ポンチョとペットボトルランタンの作成を担当いたしました。今回は、児童や高校生のボランティア協力者も増えて、この活動が定着してきたように実感しています。

今後も地域の防災意識を高めるための取組みや将来の防災を担う人材育成を地域の皆様のご協力をいただきながら行ってまいりたいと思います。

令和5年度会津若松市防災リーダー研修会

令和5年度会津若松市防災リーダー研修会が3月16日(土)のまち歩きで地元の防災マップ作成で、今年度のカリキュラムを終了いたしました。この事業は、6月よりいろいろな外部の先生や福島気象台から講師を招き、最新の知識を学び、2004年に発生した新潟県中越地震の被災地見学や救命講習などを行ってきました。

今回の防災マップ作成は、事前の2月4日(日)にまち歩きとして、町内にある危険物やハザードマップにある危険箇所、歩いて見て分かるハザードマップでは分からない発見された危険を写真に納めたり、特徴をメモしたりして記録しました。また、災害時に役立つものを事前確認を行っておりました。この回は、白地図にまち歩きで気付いたことを書き写して防災マップを完成させて、グループごとに発表し、そののちに質疑応答や意見交換して情報共有することで、街に潜んでいる危険を知ることと、「マイ・タイムライン」の勉強も行いました。



まち歩きで防災マップの作成の様子

福島県『介護施設等における防災リーダー養成等支援事業』について

この事業は、5月から6月に福島県内の介護施設に案内と説明会を行い、14施設を選び6月下旬から1施設3回の訪問を開始します。

1回目は、チェックシートに基づき施設ごとに確認して、課題を抽出します。その課題を2回目と3回目の訪問で解決に向けて取り組みます。

介護施設訪問は、2名体制で進めます。1名は専任者、もう1名は地元の会員の皆様にご協力をいただき、地元の環境などアドバイスをいただきながら進めております。施設によっては、避難訓練の企画や訓練実施、防災・減災の勉強会の開催など、施設の要望にも応えています。



介護施設担当者と打合せの様子

お近くの施設が対象となったときは会員の皆様のご協力を是非お願いいたします。

会員の皆様へ：会員様各個人で活動したり、地域や地区で行われる行事に参加したときは、その行事名や内容と写真を添えて理事長へ連絡するか、事務所にFAX(0246-26-8896)して下さい。Eメールの場合は、藁谷理事宛 t_waragai_bousaisi_19617@yahoo.co.jp へ直接送ってください。皆様の活動状況を記録し、会員の方々に知っていただくチャンスです。ご連絡をお待ちしております。